

令和5年度（2023年度）

管理事業名	文化振興事業				総合計画 の体系	大綱 7	都市魅力		
						政策 2	文化・スポーツに親しめるまちづくり		
						施策 1	文化の振興		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 22	文化振興費		
部局名	都市魅力部	予算執行 所属	文化スポーツ推進室						
事業の目的と概要 【目的】 市民に文化芸術の鑑賞と発表の場を提供するため、幅広い文化事業を実施する 【概要】 ・芸術文化活動と芸術鑑賞の機会を提供するとともに市民参加型の公演等を実施する ・吹田の若い才能を発掘し育成するために若者を対象とした育成型事業を実施する ・市民の創作意欲・技術の向上のため芸術活動を発表する場を提供する									

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標の定義
市民劇場等入場者数	人	4,707	6,887	6,407	入場者数
市民文化祭参加者数	人	15,350	14,092	14,843	出演者を含まない市民文化祭参加者数
ティーンズクラシック フェスティバル入場者数	人	2,999(2,057)	1,158	1,113	出演者を含む入場者数（うち動画視聴者数）
南山田市民ギャラリー来 館者数	人	1,377	2,225	3,927	来館者数

II 活動実績・成果

<p>※令和5年度行政評価から指標「吹田市公募美術展覧会出品点数」、「市民ギャラリー展示団体数」を削除</p> <p>【成果の指標1】市民劇場等入場者数の評価 ・入場者数 6,407人（前年度実績から480人の減） 文化芸術性の高い様々なジャンルの催しを市民に安価で提供した。第2次吹田市文化振興基本計画（吹田市文化政策ビジョン）の施策Ⅱ-1「文化・芸術を支える人材の育成」に基づき、若手育成事業実施のためのアートスペース「SUITA×ART」を設置し、お披露目イベントを実施した。SUTA×ARTは少人数対応施設であるため、大きな入場者数を収容することはできず、結果的に施設入場者数は480名の減となった。また、アウトリーチ活動の一環として、吹田ゆかりのアーティスト等による屋外でのコンサートを実施した。</p> <p>【成果の指標2】市民文化祭参加者数の評価 ・参加者数 14,843人（前年度実績から751人の増） 前年度は一部中止したイベントがあったが、今年度は全て開催することで、前年と比べ参加者数は増加した。また、こども伝統文化体験（文化庁委託事業）は今年度も実施した。</p> <p>【成果の指標3】ティーンズクラシックフェスティバル入場者数の評価 ・入場者数 1,113人（前年度実績から45人の減） 若者を対象とした普及育成型コンクールを実施し、入賞者のコンサートを行った。また、少年少女合唱団による活動を実施した。 令和5年度は応募者数が少なかったこともあり、前年度より45人減少した。 ※成果指標に計上する入場者数の考え方を見直し、令和3年度及び令和4年度の数値を修正</p>	<p>【成果の指標4】南山田市民ギャラリー来館者数の評価 ・来館者数 3,927人（前年度実績から1,702人の増） 絵画のみに限らずアプリケの展示など施設を活用した新しいジャンルの展示により、来館者数は前年度より増加している。</p> <p>【財務情報に基づいた評価】 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、施設の利用が増え、使用料収入が前年と比べ増加した。</p>
--	--

III 課題と今後の取組

<p>今後も市民が文化や芸術に触れる機会を保障できるよう、また若者も文化に親しめるよう事業展開をしていく必要がある。 市民文化祭の実施に当たっては、さらに幅広い市民に参加してもらえる事業となるよう、内容の見直しについて引き続き検討する。 幅広く文化事業を実施し、市民が文化や芸術に身近に触れる機会を提供していく。</p>	
--	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和4年度末 A	令和5年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和4年度末 A	令和5年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	3,035	2,674	△360
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	3,035	2,674	△360
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	6,719	6,490	△228	その他流動負債	-	-	-
土地	-	-	-	固定負債	26,352	23,179	△3,173
建物・工作物	6,719	6,490	△228	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	26,352	23,179	△3,173
無形固定資産	76	76	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	29,387	25,853	△3,534
建物・工作物	-	-	-	純資産	△17,093	△13,788	3,305
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	5,500	5,500	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	12,294	12,066	△228
資産の部合計	12,294	12,066	△228	負債及び純資産の部合計	12,294	12,066	△228

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	24	164	196	32
国庫支出金(経常費用充当)	541	577	533	△45
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	13,457	13,547	17,168	3,622
経常収入 小計(a)	14,022	14,288	17,897	3,609
給与関係費	28,362	33,029	29,196	△3,833
物件費	45,127	48,057	47,997	△60
維持補修費	-	667	-	△667
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	291	344	269	△75
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	228	228	228	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	2,144	3,035	2,674	△360
退職手当引当金繰入額	3,048	7,228	△1,978	△9,206
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	79,200	92,589	78,387	△14,202
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△65,179	△78,301	△60,490	17,811
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△65,179	△78,301	△60,490	17,811
一般財源充当額	63,540	72,287	63,795	△8,492
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△1,639	△6,013	3,305	9,319

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	14,022	14,288	17,897	3,609
行政サービス活動支出	77,561	86,576	81,692	△4,884
行政サービス活動収支差額	△63,540	△72,287	△63,795	8,492
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△63,540	△72,287	△63,795	8,492
一般財源充当額	63,540	72,287	63,795	△8,492
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特長的な事項

勘定科目等	特長的な事項
【BS】 建物・工作物	南山田市民ギャラリー(建物)減価償却による228千円の減
【BS】 重要物品	絵画1点 増減なし
【PL】 経常収入/ その他	市民劇場等入場料収入の増加等による3,622千円の増

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
市民1人	コスト 209円	243円	205円
	実績 378,781人	381,238人	382,336人
	コスト 円	円	円
	実績		

分析内容
従事人数の減少により、給与等経常費用が減少したため、前年度に比べ市民1人当たりのコストが減少した。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	29,741	1,318	3.84
会計年度任用等	-	-	-
特別職非常勤	151	-	-
合計	29,892	-	-

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和3年度	令和4年度 A	令和5年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		39.2	41.2	43.2	2.0
施設維持補修費比率		-	5.8	-	△5.8
経常費用対公共資産比率		693.5	810.8	686.4	△124.4
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		0.0	0.2	0.3	0.1
一般財源充当比率		81.9	83.5	78.1	△5.4